

～ 入門レベルから一歩進んだ実践的知識へ ～

ガラスの破壊メカニズムと切断、強度評価

<https://www.rdsc.co.jp/seminar/250991>

◆開催日時: 2025年09月09日(火) 10:30～16:30

◆開催形式: WEBセミナー(オンライン開催)

◆受講料: 1名につき55,000円(税込、資料付)

※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

・1名でお申し込みされた場合、1名につき**49,500円(税込)**・2名同時でお申し込みされた場合、**2人目は無料(2名で55,000円(税込))**

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

●講師: GMS研究所 代表 博士(工学) 荒谷 眞一 氏 (元・セントラル硝子(株))

【講座の趣旨】

ガラスは、その組成や構造を変えることにより種々の希望する特性を容易に得ることができる有用な材料です。一方、脆性破壊を示す代表的な材料でもあり、強度や破壊に対する保証が極めて難しい材料でもあります。

今回のセミナーでは、「基礎から応用への橋渡し」として、入門レベルを終えた方向けに、初級～中級に相当する内容をご紹介します。

基礎知識を再確認しつつ、「ガラス切断」「破壊における時系列的な流れ解析」「応力緩和と網目溶解」など、より実践的なトピックにも踏み込みます。特に、「室温でも応力緩和現象が存在する」という従来概念とは異なった結果をベースにこれまでに得られた新たな知見を紹介すると共に、「ガラスの破壊と強度」の基礎概念を中心にできるだけ容易に理解できるように説明します。

翌日開催の「強化ガラスのクラック伝播と破壊挙動の理解」と併せて受講されると、さらに理解が深まると思います。

【プログラム】

1. 板ガラスと破壊の基礎
 - 1-1 板ガラスとは?
 - 1-2 板ガラスの基礎と主な特性
 - 1-3 破壊の基礎概念
2. ガラスの切断
 - 2-1 ガラス切断の考え方
 - 2-2 ガラスカッターによる切断

- 2-3 切断液(雰囲気)の影響
3. ガラス破壊における時系列因子
 - 3-1 ガラス破壊の概要
 - 3-2 負荷の供与
 - 3-3 応力の発生と伝達
 - 3-4 初期クラックの生成(破壊始点の形成)
 - 3-5 クラック進展(分岐)
 - 3-6 ガラス破壊
4. 新たなガラス強度測定方法
 - 4-1 反力試験法
 - 4-2 Quasi-static試験法
5. 応力緩和と網目溶解
 - 5-1 応力緩和現象とは?
 - 5-2 歪点未満の応力緩和現象
 - 5-3 室温近傍の応力緩和現象
 - 5-4 室温近傍の応力緩和現象
 - 5-5 網目溶解
6. ガラスの破壊と強度
 - 6-1 従来の考え方
 - 6-2 新たな知見
 - 6-3 ガラスの破壊と強度の考え方

●後編はこちらから

「強化ガラスのクラック伝播と破壊挙動の理解」

<https://www.rdsc.co.jp/seminar/250992>

『ガラス破壊【WEBセミナー】』セミナー申込書

会社名			
住所	〒		
電話番号		FAX	
お名前	所属・役職	Email	
①			
②			
会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。		☐ Eメール ☐ 郵送	

● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたします。受講用URLは後日お送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>